

行政視察内容報告書

平成31年3月13日

土佐清水市議会議長

永野 裕夫 様

委員会名 新風会

(提出者) 氏名 弘田 条



下記のとおり報告します。

項目	<input checked="" type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	永野裕夫 細川博史 弘田条 計 3 人
期日	平成31年2月2日

【概要】(年月日・場所・内容)

日 時 平成31年2月2日(土)

場 所 大阪府土佐清水ワールド梅田お初天神店

内容・所感

大阪府の土佐清水ワールド梅田お初天神店を訪問し、店長などから土佐清水ワールドの事業概要や、事業展開など学習しました。

○郷土活性化組合で「生産者の誇りと自信」を郷土の方々へ

日本を支えてきた全国各地の生産者は、いま誇りと自信を失いかけているのではないか。ワールド・ワンの郷土活性化組合はそうした問題意識から始まった。今の時代の流れでは、生産や流通で非効率なのは、避けるというのが定石であるが、それでは遠く離れた生産はどうなるのか。この活動では全国各地に、埋もれている価値のある食材や郷土料理を商品化し、それを店舗で販売。生産者と消費者をつなぐことで、生産者の誇りと自信を取り戻します。

○郷土に眠る魅力を引き出し、食を通じて新しい価値の可能性を広げます。

それぞれの郷土に眠るもの本当の価値を見いだし、食を通じてその可能性を広げる取り組みを行っています。そして、それは食ビジネスのプロである、ワールドワンにしかできないと自負しています。美しい郷土とそこで働く生産者に新たな活路を開き、人も町も活性化させること。そして食によって地域をつなぎ日本の風土を熱くする。そこにゴールがある。

○土佐清水市と連携協定を結び、人と、商品と、情報の動きを活性化する。

連携協定は、土佐清水から神戸、神戸から土佐清水へと人や商品の動きを大きくし、そのつながりをより強固にするためのものです。市と結びつことで、生産者に安心と信頼を確約することができ増産や路拡大にもつながります。土佐清水ワールドの月間来店者は約3万

【所 感】

5千人、この店舗がアンテナショップとなり行政は様々な情報発信をすることができます。

連携協定を締結して以降、市・生産者・ワールド・ワンのそれぞれがアイデアを出し合い、

三位一体で盛り上げています。

①ワールド・ワンと土佐清水市と協定を結び、土佐清水市からの食材や商品の流れがあり、

土佐清水市にとって大きな商業活性化に繋がっていると感じた。

②店舗内には、土佐清水市を紹介するものも多く、メニューはほとんど土佐清水市の食材や人物であった。アンテナショップの役割も大いに感じました。

③先日は、土佐清水市へのツアーも行っていただき、足摺岬灯台付近で船に乗って観光をしている高知新聞の記事も見ました。今後益々土佐清水市のPRを行っていただきたいと思いました。

④今後、更に店舗も増えて、全国に土佐清水市の食材や気候・自然などが紹介され、土佐清水市が脚光を浴びるよう私も応援をしていきたと思いました。